符号・数直線・絶対値

中1／解き方プリント 項目1／目標 15分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

きまり① 基準と 反対の ことばは − で 表す。0 は 正の数でも 負の数でも ない

きまり② 数直線は 1目もりの 大きさを 先に 決める。絶対値は 0 からの 距離（符号を とった 数）

れい 北を + と して 南へ 4km は −4km。絶対値が 3 の 数は +3 と −3 の 2つ

◯ −7 の 絶対値は 7　　× −7 の 絶対値は −7

・答えを 四角に 書く。−（マイナス）を 省かない。大問3(1)は 先に 1目もりを 四角に 書く。○で かこむ 問題は 1つだけ かこむ。

・個数を 数える とき、以上・以下は その 数も 数え、未満・より 大きいは 数えない。

・符号・0・数直線・絶対値を 確かめる。

・大問5は、「正しい」「まちがい」の どちらかを ○で かこみ、まちがいなら 正しい 答えを、正しい 答案なら「同じ」と 四角に 書く。

大問1 ことばを 符号の ついた 数で 表す

(1) **東を + と して、西へ 5km**

□ km

(2) **後を + と して、−2時間 は**

2時間 前　2時間 後

大問2 0 と 整数の 個数

(1) **$-4, 0, \frac{5}{2}, -\frac{1}{2}, 7$ の うち、正の数は 何個**

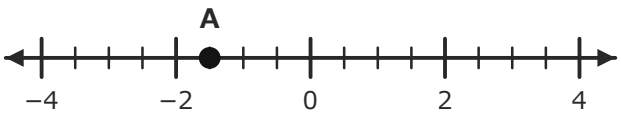
□ 個

(2) **−2.5 より 大きく 3 未満の 整数は 何個**

□ 個

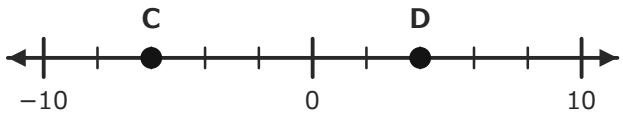
大問3 数直線の 目もりを 読む

(1) **点Aが 表す 数を 書く**



1目もり □　点A □

(2) **点C、Dが 表す 数を 書く**



点C □　点D □

大問4 絶対値

(1) **−9 の 絶対値** □

(2) **絶対値が 6 の 数を すべて 書く**

□

(3) **絶対値が 2 以下の 整数は 何個**

□ 個

大問5 まちがいを 直す

(1) **「絶対値が 4 の 数は 4」**

正しい　まちがい　答え □

(2) **「−2.5 の 絶対値は −2.5」**

正しい　まちがい　答え □

見直し □ 反対の ことばを − に した □ 0 を 数えた □ 目もりの 大きさを 先に 決めた まちがい（ ）問

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「正負の数」のプリント一覧がひらきます

符号・数直線・絶対値【こたえ】

中1／解き方プリント　項目1／目標 15分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

きまり①　基準と　反対の　ことばは −　で　表す。0 は　正の数でも　負の数でも　ない

きまり②　数直線は 1目もりの　大きさを　先に　決める。絶対値は 0 からの　距離（符号を　とった　数）

れい　北を ＋ と　して　南へ 4km は −4km。絶対値が 3 の　数は +3 と −3 の 2つ

◯　−7 の　絶対値は 7

×　−7 の　絶対値は −7

大問1　ことばを　符号の　ついた　数で　表す

(1)　東を ＋ と　して、西へ 5km

−5 km

(2)　後を ＋ と　して、−2時間　は

2時間　前　／　2時間　後

大問2　0 と　整数の　個数

(1)　$-4, 0, \frac{5}{2}, -\frac{1}{2}, 7$ の　うち、正の数は　何個

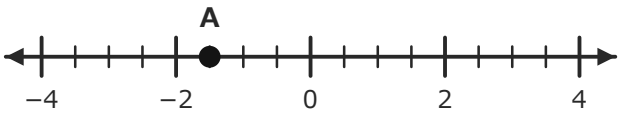
2 個

(2)　−2.5 より　大きく 3 未満の　整数は　何個

5 個

大問3　数直線の　目もりを　読む

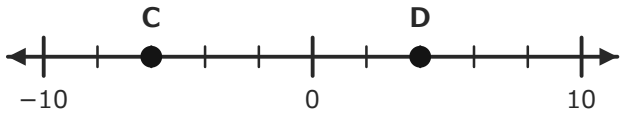
(1)　点Aが　表す　数を　書く



1目もり　**0.5**　　点A　**−1.5**

1目もり　＝ 0.5。数字の　ある　目もりから　数えて　読む

(2)　点C、Dが　表す　数を　書く



点C　**−6**　　点D　**4**

1目もり　＝ 2。数字の　ある　目もりから　数えて　読む

大問4　絶対値

(1)　−9 の　絶対値　**9**

(2)　絶対値が 6 の　数を　すべて　書く

+6, −6

(3)　絶対値が 2 以下の　整数は　何個

5 個

大問5　まちがいを　直す

(1)　「絶対値が 4 の　数は 4」

正しい　／　**まちがい**

答え　**+4, −4**

(2)　「−2.5 の　絶対値は −2.5」

正しい　／　**まちがい**

答え　**2.5**

丸つけのめやす／つまずきやすいところ

大問1 (1) を 5 と　書いていたら、「反対の　ことば」を −　に　直せていない（−5km）。(2) は −2時間　＝ 2時間　前（後を ＋ と　した　とき）。

大問2 (1) を 3 に　したら 0 を　正の数に　入れている（正の数は $\frac{5}{2}$ と 7 の 2個）。(2) は −2, −1, 0, 1, 2 の 5個で、0 を　数える。

大問3 (1) の　点Aを −2.5 と　読んでいたら、右へ　行くほど　数が　大きく　なる　ことを　見ていない（−2 の　右に　ある　点）。1目もりは 0.5、−2 から　右へ　1目もりで −1.5。

大問4・5 絶対値は　符号を　とった　数。(2)「絶対値が 6 の　数」は +6 と −6 の 2つ（1つだけ　なら ×）。(3) は −2 から 2 までの 5個。

別解の　扱い：分数は　上下でも　斜め線でも　○（約分してあること）。小数も　○。＋ と　単位は　なくても　○。

いちごドリル プリント